

【 Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13 「隅田川怒涛」とは 】

隅田川をひとつの大きな舞台と見立てる音楽&アートフェスティバル。隅田川流域の船着場とその周辺の施設や公園等を使って、世界的に活躍するアーティストによる様々な音楽、パフォーマンス、インスタレーションを「春」と「夏」の2回にわたって展開します。

約200年前の江戸期の華やきを想い、この地の永い歴史に尊敬の念を込め、芸術表現活動を通じて人々が怒涛のように混ざりあっていく姿を描くプロジェクトです。

- 会 期：春 2020年4月13日（月曜日）～4月19日（日曜日）
夏 2020年8月17日（月曜日）～8月23日（日曜日）
- 会 場：隅田川周辺（河川敷や公園、橋、寺院、博物館など）
- 参 加：無料 ※一部要事前申込。詳細は後日 WEB サイトにて発表
- 主 催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団
- 後 援：中央区、台東区、墨田区、江東区、
荒川区、足立区、公益財団法人東京都公園協会
- 企画・運営：特定非営利活動法人トッピングイースト
- 公式 WEB サイト：<https://dotou.tokyo>



【 春プログラム一覧 】



「隅田川道中」

実施日：4月18日（土曜日）

会 場：岩淵水門（北区）から勝鬨橋（中央区）まで

参加アーティスト：切腹ピストルズ

「日本を江戸にせよ！」を合言葉に、日本各地を駆け巡る和楽器集団・切腹ピストルズが隅田川に初見参。隅田川の入口・岩淵水門から出口・勝鬨橋まで、約24kmを演奏しながら疾風怒涛の如く練り歩きます。ぜひ応援に来てください。

「エレクトロニクス・ファンタスティコス！～家電集轟篇～」

実施日：4月18日（土曜日）、19日（日曜日）

会 場：MURASAKI PARK TOKYO（足立区）、CITY KART（足立区 ※19日のみ）

参加アーティスト：和田永 + Nicos Orchest-Lab

アーティストの和田永が中心となり、使われなくなった電化製品を新たな楽器として蘇らせ、あらゆる人を巻き込みながらオーケストラを目指していくプロジェクト。東京、日立、京都、オーストリア・リンツを拠点に日々共創を続けているプロジェクトチームが2020年初頭より隅田川沿いで滞在製作を開始。いくつかの家電楽器を製作し、実施期間中には体験できる展示コーナーを設けるほか、来場者が演奏にも参加できる仕組みを構築中です。



「結」

実施日：4月18日（土曜日）、19日（日曜日）

会 場：汐入公園（荒川区）

参加アーティスト：在京外国人、ほか

ジャンル（出演者の出身国）：ベリーダンス（トルコ）、コラ（マリ）、チューバ・ドラム（イギリス・日本）、モジュラーシンセ（スウェーデン）、オルタナ（アメリカ・日本）、フォルクローレ（ペルー）、テクノ・ポップ（イギリス）、タンヌーラ（エジプト）、民謡（日本）

東京に暮らす外国人の方々が隅田川沿いの汐入公園に集結し、自国の音楽や踊りなどを紹介する音楽フェスティバル。様々な国の方々と交流を通じて、世界の文化を体感できる2日間です。



こうかくひまつ 「口角飛沫」

実施日：4月18日（土曜日）、19日（日曜日）
会場：桜橋（台東区・墨田区）
参加アーティスト：いとうせいこう ほか

隅田川にかかる桜橋を舞台に、ヒップホップの精神にのっとり、いとうせいこうがホスト役となって、子供から大人まであらゆる世代を巻き込みながら、参加型の言葉遊び（ラップバトル等）に挑戦します。

「サウンド・インスタレーション（仮）」

実施日：4月13日（月曜日）～19日（日曜日）
会場：墨田区立隅田公園（墨田区）

隅田公園に音を使ったアート作品が出現します。アーティストは後日発表します。



「あの日を歌に」

実施日：4月18日（土曜日）、19日（日曜日）
会場：墨田区役所前の隅田川テラス（墨田区）
参加アーティスト：寺尾紗穂、角銅真実

音楽家の寺尾紗穂と角銅真実がそれぞれ1日ごとにキュレーターとなり、参加者と共に隅田川を眺めながら、古き良き歌（童謡等）を歌う参加型コンサートを開催します。

「ほくさい音楽博」

●日本の伝統芸能 DAY

実施日：4月18日（土曜日） 会場：江戸東京博物館（墨田区）
参加アーティスト：義太夫や和楽器を練習した子供たち

●世界の音楽 DAY

実施日：4月19日（日曜日） 会場：回向院（墨田区）
参加アーティスト：ガムランやスティールパンを練習した子供たち

世界に名を轟かせた葛飾北斎への尊敬の念を込めて、子供たちに、世界中の響きの美しい楽器に触れてもらい、その歴史を学んでもらう音楽プログラム。インドネシアの伝統芸能・ガムラン、トリニダード・トバゴ生まれのドラム缶楽器・スティールパン、日本の伝統芸能・義太夫と和楽器など、12月から練習を重ねてきた子供たちが成果を発表します。当日は、来場者の子供たちに向けた体験会等も実施します。



「身体と音楽」

実施日：4月18日（土曜日）、19日（日曜日）
会場：築地教会 ほか（中央区）
参加アーティスト：GOMA（18日のみ）、稲葉俊郎

2009年、交通事故に遭い外傷性脳損傷と診断され、高次脳機能障害の症状が後遺しながらも音楽家、画家として活動を続けているGOMAと、医学博士でさまざまな音楽家との交流も深い稲葉俊郎が身体と音楽との関係を見つめ直し、音楽の効用をいろいろな角度から考え実践していくプログラム。トークやワークショップ等を実施します。



「浜離宮アンビエント」

実施日：4月18日（土曜日）
会場：浜離宮恩賜庭園 内堀広場（中央区）
参加アーティスト：蓮沼執太

音楽家・アーティストの蓮沼執太率いる多様な音楽性をもつ15名編成の楽団「蓮沼執太フィル」が、隅田川怒涛のために新曲を制作し、江戸時代から続く東京屈指の名勝である旧浜離宮庭園にて、特別な一夜限りのコンサートを実施します。

「船内放送」

実施日：4月18日（土曜日）、19日（日曜日）

会場：隅田川怒涛 移動船内

隅田川怒涛では、各プログラム会場をつなぐ、移動船を臨時運行します。船内では、アーティストが水先案内人を担当。隅田川にまつわるさまざまな物語を紐解く船内放送にご注目ください。

※アーティストプロフィールはWEBサイトをご覧ください。

※アーティスト及びプログラムは変更になる場合がございます。

※今後もWEBサイト及びSNSにて随時詳細をお知らせします。なお、4月3日（金曜日）夕刻に隅田川怒涛船上記者懇談会を予定しており、詳細は後日お知らせします。

※夏会期のプログラムについては後日発表します。